

はびきの市民大学 だより

オータムコンサート・特別講義・生涯学習フェスティバル開催

11月9日(土)にホールMにて公開講座を開催いたしました。

第1部のオータムコンサートは「世界の四季」をテーマに大阪音楽大学専攻科生による演奏です。ファゴットとパイプオルガン、箏とピアノの共演など、珍しい編成での演奏や懐かしい文部省唱歌の合唱など、よく知られている曲の多いコンサートでした。



第2部は仙海義之氏を講師に迎え、特別講義「宝塚歌劇から東宝が生まれた-エンタテインメントの総支配人、小林一三」を行いました。「小林一三の先見の明がすごい!面白かった」「話の上手な方で楽しく聴きました」などの感想をいただきました。



また、11月8日(金)~9日(土)に、アトリウムにて生涯学習フェスティバルを開催いたしました。近隣の大学の博物館や万博、SDGsについての展示を行いました。



SDGsに関連するリサイクルやリメイクを学べるワークショップにも参加していただきました。

学長コラム 【第63回】



河内厚郎
(はびきの市民大学学長)

河東けいさん(1925~2024)が亡くなった。関西芸術座の創立メンバーで、晩年まで舞台やTVドラマで活躍した。

吹田メイシアターで見た『老貴婦人の訪問』(デュレンマット作、熊本一演出)が印象に残っている。

舞台はスイスあたりの田舎。かつてはゲーテが逗留したりブラームスの弦楽四重奏が初演されたりしたが、現在は寂れた町を、金持ちの老貴婦人クレレ(この市出身)が訪れる。人々は、彼女から寄付を得ようと、かつての恋人イルを立てて迎えた。

市長と市民に巨額の寄付を約束した彼女は、引き換えにイルを誰かが殺すことを要求する。イルは50年前、クレレを裏切って別の女性と結婚し、それがきっかけで彼女は市を出て行かざるをえなくなった。市長も市民もクレレの提案を拒否するが、貧困にあえぐ人々の心は揺れ始め、やがて狂った熱気が市民を駆り立てていく-----

河東けいは演出も手がけた。最晩年は、特高の拷問で死亡した小林多喜二の母を描いた一人芝居『母』を演じ続けた。享年98歳。

梅田食道街の立ち飲みのお店で何度か会ったことがある。



インターンシップを通して学んだこと

四天王寺大学より、インターンシップ生として参りました。戸田と申します。今回の記事の作成を担当させていただきました。私は将来、趣味であるバイクの操作を教える、特別指導員を目指しています。はびきの市民大学では、教育や学習支援を行っていることと知り、実際に働かせていただいて、何かを支援するという心の構えを身につけたいと思い、希望いたしました。



インターンシップを体験して

私は、インターンシップとしてお世話になった5日間の中で、大学では体験することが出来ない、貴重な体験をさせていただきました。実際に、ボランティアスタッフ募集のチラシの作成や、プライバシー保護に関する研修、講座の補助や、イベント業務のサポートに携わらせていただきました。

社会人として

まず、実習の初めにプライバシーに関する研修をしていただき、社会人として働く上での、プライバシー保護の重要性、責任を学ばせていただきました。PMSやBCCなどといった専門用語が多く並び、大変難しい内容でしたが、担当者様に一つ一つ丁寧にご指導いただき、理解することが出来ました。今回の研修を通じて、社会人の日常業務には、アルバイトとは違った、大きな責任が生じることを学ばせていただきました。

チラシ作成

次に、ボランティアスタッフ募集のチラシ作成をさせていただきました。私は一度もチラシを作成したことはなく、チラシ作成はこれほど難しいものなのかと痛感いたしました。多くのチラシがある中で、どのように工夫すれば目に留まるのか、市民の方々に分かりやすく伝わるのか試行錯誤を繰り返しました。担当者様は、私が作成したチラシを隅々まで確認してくださり、アドバイスをしてくださいました。私のチラシは、自分の中で納得のいくものになりました。今回の経験から、日常で目にしてるチラシも、簡単に作成できるものではなく、数多くの工夫が凝らされていることを学び、その難しさを学ばせていただきました。

講座の補助

そして、「花の女王バラの魅力」「宮沢賢治講座」の講座補助をさせていただきました。講座補助では、主体的に行動できていないことを痛感いたしました。実際に、ビデオのカメラ設置や、受講生のみなさんがより受けやすい授業にするためのサポートをさせていただいたのですが、主体的に動けず、社員の方々の指示を待っている状態でした。実際に社会人になれば、仕事をするうえで、主体的に動けなければいけないと考えています。私は、今回の大学では行えない貴重な体験を大切にして、今後主体的に動けるように努力しようと考えました。

以上の事より、私は今回のインターンシップに参加させていただいて、多くの学びと反省がありました。この経験を大切にして、今後努力してまいります。

5日間、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号 LIC はびきの内
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分~17時30分(2階学習情報室) 9時30分~16時30分 ※閉室は祝日・振替休日・年末年始

※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
※情勢により、感染予防対策をお願いする場合がございます。ご理解、ご了承のほどお願いいたします。
※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

- ご個人情報の取り扱いについて
- ご提出いただきました個人情報は、個人情報の保護に関する法律に基づいて適切に管理いたします。また、株式会社みのりの里「個人情報保護方針」のもと適切な取り扱いを致します。
 - ご提出いただきました個人情報は、はびきの市民大学事務局が主催する講座の運営、受講生募集を行う目的の範囲内で利用させていただきます。
 - ご提出いただきました個人情報は、次の場合を除き、ご本人の同意なしに第三者に提供することはありません。
(1)講座実施にあたり、講座を担当する講師または講座委託会社に受講者のお名前、年代、性別、受講履歴を提供すること。
(2)公的機関からの法令に基づく照会を受けた場合。

はびきの市民大学

検索

